



主要製品一覧

- 鉄鋼事業部門
 - 鋼材：線材，棒鋼，厚板，熱延鋼板，冷延鋼板，電気亜鉛めっき鋼板，溶融亜鉛めっき鋼板，塗装鋼板，異形棒鋼「デーコン」・「ネジコン」，銑鉄
 - 鋳鍛鋼：船用部品〔クランクシャフト，機関部品，軸系，船体部品〕，産業機械部品〔型用鋼，ロール，橋梁部品，圧力容器ほか〕，原子力部品
 - チタン：航空機エンジン・機体用部品〔鍛造品，リング圧延品〕，薄板〔コイル，シート〕，箔，厚板，線材，溶接管，各種チタン材〔高強度用，耐食用，成型用，伝熱用，自動車マフラー用，ゴルフクラブヘッド用，眼鏡用，建材用，医療材料用〕
 - 鉄粉：粉末冶金用鉄粉，圧粉磁芯用磁性鉄粉，土壌・地下水浄化用鉄粉，カイロ用鉄粉，脱酸素材用鉄粉，金属射出成形用微粉末
 - 電力：電力卸供給，熱供給

- 溶接事業部門
 - 溶接材料：被覆アーク溶接棒，半自動溶接用フラックス入りワイヤおよびソリッドワイヤ，サブマージアーク溶接用ソリッドワイヤおよびフラックス，ティグ溶接棒，溶接用裏当材
 - 溶接システム：鉄骨溶接ロボットシステム，建設機械溶接ロボットシステム，そのほか溶接ロボットシステム，オフラインティーチングシステム，溶接ロボット，溶接電源
 - 高機能材：脱臭・オゾン分解・有毒ガス除去
 - 全般：試験・分析・検査・受託研究，教育指導，コンサルティング業務，産業ロボット・電源・機器の保守点検

- アルミ・銅事業部門
 - アルミニウム板：飲料缶用アルミ板，熱交換器用アルミ板，自動車用アルミ板，磁気ディスク用アルミ基板，一般材
 - アルミニウム押出材・加工品：形材，管，棒，加工品〔自動車・輸送機用部材，OA機器用部材，建材，建設用資材〕
 - アルミニウム合金およびマグネシウム合金鋳鍛造品：アルミ鍛造品〔航空機用部品，自動車用部品，鉄道用部品ほか〕，鋳造品〔航空機用部品など〕，機械加工品〔半導体・液晶製造装置部品〕
 - 銅板・条：半導体用伸銅板条，自動車端子用伸銅板条，リードフレーム
 - 銅管：空調用銅管，給湯用銅管，復水管，一般銅管

- 機械事業部門
 - タイヤ・ゴム機械：バッチ式ミキサ，ゴム二軸押出機，タイヤ加硫機，タイヤ試験機，タイヤ・ゴムプラント
 - 樹脂機械：大型混練造粒装置，連続混練押出機，二軸混練押出機，成形機，光ファイバ関連製造装置，電線被覆装置
 - 高機能商品：真空成膜・表面改質装置〔AIP，UBMS〕，検査・分析評価装置〔高分解能RBS分析装置〕
 - 圧縮機：スクリュ・遠心・往復圧縮機，スクリュ冷凍機，ヒートポンプ，ラジアルタービン，汎用圧縮機，スクリュ式小型蒸気発電機
 - 素材成型機械：棒鋼線材圧延機，分塊圧延機，板圧延機，形状制御装置，連続鋳造装置，等方圧加圧装置（HIP・CIP），各種高圧関連装置，金属プレス
 - エネルギー：アルミニウム熱交換器（ALEX），LNG気化器（ORV，中間媒体式，空温式，温水式，冷水式），圧力容器，航空宇宙地上試験設備

- エンジニアリング事業部門
 - 新鉄源・石炭エネルギー：直接還元鉄プラント，ペレットプラント，製鉄ダスト処理プラント，新製鉄プラント（ITmk3，FASTMELT），選鉱プラント，改質褐炭（脱水炭）製造
 - 原子力・CWD：原子力関連プラント（放射性廃棄物処理・処分），原子力先端設備，原子炉・再処理機器，使用済燃料輸送・貯蔵容器，燃料チャンネル，濃縮ボロン製品
 - 化学兵器処理に関するコンサルティング・探査・回収・運搬・保管・化学分析・モニタリング・安全管理・無害化処理施設建設および運営業務
 - 化学剤により汚染された土壌その他の無害化施設建設及び無害化業務
 - 爆発性物質・難分解性毒性物質の処理施設建設及び処理業務
 - 汚染された地域の環境回復業務
 - 鉄構・砂防：砂防・防災製品〔鋼製堰堤，フレア護岸〕，ケーブル製作架設工事，防音・防振システム
 - 都市システム：新交通システム〔ゴムタイヤ式中量軌道システム，スカイレール，ガイドウェイバス〕，駅ホームドア，列車停止位置検知装置，建築限界測定装置（JKシリーズ），無線モニタリング，無人運転システム，PFI型事業，医療情報システム

編集後記

＜特集：電子・電気材料／機能性材料および装置＞

*本号では、当社が研究開発を進めてきた最新のエレクトロニクス関連製品とその開発技術の中から、特徴的なものを選び出してご紹介しました。

*製品分野では、自動車が先導し今後拡大が期待される二次電池関連の製品を中心に、その開発や品質を支える分析・評価技術を集めてみました。まず従来のリチウム電池の充放電の効率向上を目指すメカニズムの解明から、近年注目されている空気電池の開発まで、これからの二次電池社会を展望した技術です。また、電子装置化が進むカーエレクトロニクスの発展を支えるアルミニウムや銅のIGBT電極やバスバーなどの最新の材料開発状況もご紹介しております。

*鉄鋼会社の長所である磁気活用分野の材料や装置について、これまでの研究基

盤をさらに強くするための新しい試みをご紹介する一方で、先進の機能性材料として、酸化半導体材料に関する最近の研究開発成果もご紹介しております。

*地球温暖化問題からのエネルギー課題への関心が一層高まる中、その中心となる電子電気技術の開発を推進し続け、今後もさらに先進的で、かつ信頼性のある製品や技術を世に提供していきたいと考えています。

*本号の企画・編集にあたっては、当社の開発した技術がどのような形で、将来のエコでクリーンな安心安全社会に貢献しようとしているのかを感じていただけよう配慮しましたが、少しでもご理解いただけたなら幸いです。今後とも、関係各位のますますのご指導、ご鞭撻をお願い致します。

(井上憲一、相浦 直)

次号予告

＜特集：素形材＞

*プレス成型などに使用される素材に対し、鍛造、鍛造や粉末冶金によって三次元形状を与えられたものを「素形材」と呼び、当社の発祥時の事業は鍛造鋼品であり、まさにこの素形材から始まっています。以来100年を超える歴史を持つ鍛造鋼、業界のパイオニア的存在であるチタン、鉄粉、アルミニウム鍛造品を有し、それぞれの業界をリードする総合的素形材メーカーです。

*素形材はそのまま各種機械に組み込まれる部品となることから、お客様ごとに材質、形状を設計し、お客様個々のご要求に十分に満足する製品をご提供することが基本となります。

*素形材は高強度材や軽量材の適用や、使用時の負荷応力状態を考慮した形状最適化などにより、各種機械の軽量化、省エネルギー・省資源化に寄与できる有効な素材です。また、原料から最終製品ま

での歩留りが高い素材として、その重要性は今後も高まると思われます。

*当社が様々な業界に提供している素形材としては、船用ディーゼル機関用クランク軸や石油化学用压力容器などの大型鍛造鋼品、航空機・電力・化学などの分野に向けた純チタンやチタン合金の鍛造品・圧延品、自動車・航空機向けアルミニウム鍛造品を挙げることができます。また、粉末焼結品として自動車産業向けに提供している鉄粉については、電磁部品への展開、土壌改良用機能材として利用分野に広がりを見せています。

*次号では、素形材特集号として、当社が生産する素形材各分野おける材料、成形技術、品質評価技術などに関する最新の技術についてご紹介させていただきます。関係分野の皆様のお役に立つことができれば幸いです。

(藤網宣之)

＜編集委員＞

委員長	三宅俊也
副委員長	中川知和
委員	相浦直一
	井上憲一
	清水弘之
	高木弘行
	中島悟博
	福中恒博
	藤綱宣之
	前田恭志
	三村毅
	吉村省二
	<五十音順>
本号特集編集委員	相浦直一
	井上憲一

R&D 神戸製鋼技報

第65巻・第2号（通巻第235号）

2015年9月30日発行

年2回（5月、9月）発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 三宅 俊也

発行所 株式会社 神戸製鋼所

秘書広報部

〒651-8585

神戸市中央区脇浜海岸通

2丁目2番4号

印刷所 福田印刷工業株式会社

〒658-0026

神戸市東灘区魚崎西町4丁目

6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社

R&D神戸製鋼技報事務局

〒651-2271

神戸市西区高塚台1丁目5-5

(株)神戸製鋼所内

FAX(078)992-5588

rd-office@kobelco.com

2015年 9月30日

各 位

(株)神戸製鋼所
秘書広報部

「R & D神戸製鋼技報 Vol.65, No.2」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D神戸製鋼技報 Vol.65, No.2」を発行しましたのでお届け致します。
ご笑納のうえご高覧いただきましたら幸甚です。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下記変更届けに必要な事項
をご記入のうえ、FAXあるいはE-mailにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

神鋼リサーチ株式会社
R&D神戸製鋼技報事務局 行
FAX 078-992-5588
rd-office@kobelco.com

変 更 届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	TEL：